

2024年4月15日

各位

沖縄県労働金庫

**【活動報告】2023年度「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」
地域で活躍する高校生・大学生の取り組みをご紹介します！**

沖縄県労働金庫（理事長 東盛 政行）は、高校生・大学生に向けた地域活動・社会活動支援策として「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」の助成先を決定し、2023年7月に助成金を贈呈しました。

本プロジェクトは、沖縄・地域のために何かしたい高校生・大学生の活動を応援する助成金となっています。「社会人」より活動資金を得ることが難しい「学生」へ資金支援を行うことで、学生自身が活動を通じて得られる知識や経験の広がり、沖縄の地域活動・社会活動のさらなる活性化を期待します。

つきましては、助成した高校生・大学生グループより特色豊かな活動報告をいただきましたので、ご紹介します。

なお、本プロジェクトについては、2024年度も実施いたしますので、詳細は最終ページをご覧ください。今後も当金庫の理念にある「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」ため、地域活動・社会活動のさらなる活性化に取り組んでまいります。

記

1. 2023年度「ろうきん・あといっぱいプロジェクト」概要

(1) 対象者

沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。

(2) 助成額

総額100万円、1グループ上限10万円

(3) 応募状況

2023年4月1日～5月31日に募集し、30グループを応募受付

高校生：14校19グループ

大学生：7校11グループ

(4) 助成先について

12グループに助成決定

高校生：8校9グループ

大学生：3校3グループ



2. 助成グループ一覧

寄付先団体（順不同）		グループ名	資金使途
1	宮古総合実業高校	フードクリエイト食と環境班	環境に配慮した特産品を開発し優良県産品に応募するため、旅費として使いたい。
2	読谷高校	読谷高校科学同好会	比謝川の汚染度や汚染の原因について調査するため、水質検査キットなどを購入したい。
3	那覇西高校	那覇西高校ボランティア部	渡嘉敷島で小中学生を対象に、環境問題についての学習会を開催したい。
4	知念高校	知高！綱がるプロジェクト	与那原町のSDGsの課題について調査・研究し、地域活性化につながる商品の企画やCM動画作り等を行いたい。
5	宮古特別支援学校	パニパニ・ズミズミ	宮古特別支援学校の美術展を開催したい。
6	宮古総合実業高校	生徒商業研究発表大会出場メンバー	宮古島の観光とSDGsに繋げたサステナブルツアープランを考える一環で、駆除されたサメを用いた商品を開発したい。
7	美里高校	A I R	小学生に対して絵本を読み聞かせする際（対面、動画）に必要な道具を購入したい。
8	沖縄国際学院高等専修学校	助け合い隊 in OKINAWA	古着・玩具集めを行い福祉団体やNPO法人に寄付するための備品、活動費として利用したい。
9	沖縄尚学高校	地域研究部 継承グループ	白梅学徒隊の足跡を巡るバスツアーを開催したい。
10	琉球大学	学生団体VONS	宮城ヶ原児童センター（浦添市）で小中学生と行ってきたSDGsの取り組みの集大成として、レモネードスタンドで飲み物を提供しながら、今までの取り組みを発表したり、フードドライブを実施したい。
11	沖縄県立看護大学	ふしゃぬふ うぐなーり cafe	高校進学のため沖縄本島に「島立ち」した高校生（多良間島出身）の生活面、人間関係、勉強面をサポートするための交流会を開催したい。
12	沖縄大学	沖大ボランティアサポート団体「ぼらさぼ」	他機関から提供してもらった廃棄品の食品で、沖大周辺の住民と一緒に料理を作る「地域に根ざしたフードロス活動」を行いたい。そのための不足分の食料費、広告費として使いたい。

3. 活動報告より一部抜粋

(1) 宮古総合実業高校「フードクリエイティブ食と環境班」



宮古島の地下水保全に配慮した特産品「黒糖ようかん」を製造し優良県産品に応募しましたが、今回は惜しくも落選しました。現在は次年度に向けて活動再開しています。

1月には「おきなわ花と食のフェスティバル 2024」に部員3名が参加し、2022年度に優良県産品を受賞した「紅芋ようかん」を販売ツールに使用し、地下水保全の取り組みを助成金で購入したTシャツを着てPRしました。

(2) 読谷高校「読谷高校 科学同好会」



本研究では、『どうする比謝川?』と題し、「汚い」という印象が事実なのかという疑問を、水質実験を行い現状解明し、地域にとってより良い水源として、将来的にどのような活用が可能であるか考察や提案を行いました。

2023年12月16日に開催された第12回SCORE！（沖縄科学技術大学院大学主催、高校生が考案した新しい科学技術のプロジェクトをプレゼンする大会）において研究発表することができました。

(3) 那覇西高校「那覇西高校ボランティア部」



いただいた助成金で、離島（渡嘉敷島）の小学生を対象にビーチクリーンとワークショップ（アクセサリ作り、環境クイズ・私達にできることを考えよう）を実施しました。

活動を通じて、ボランティア部では「自分の意志で活動に参加して、この活動でしか交流できない人と繋がることできた。」や「今回はローカルの学びであったが、次回企画する際には、世界と結びつけてグローバル活動を行って行きたいと思う。」といった感想が寄せられました。

(4) 知念高校「知高！網がるプロジェクト」



与那原町は、人と環境にやさしい町づくりを目指す「よなばる網がるプロジェクト」を推進しています。そのプロジェクトチームと連携し、地域でSDGsに取り組む行政、企業、NPO法人等から講師を派遣していただき、2年生全体で探究活動に取り組みました。

講師は生徒達へ課題を与え、その課題に対し生徒自身が情報収集、整理・分析し、解決方法を発表しました。今年度は昨年比に比べ、フィールドワークや作品の制作、栽培活動を行うなど取り組みの充実が感じられました。

(5) 宮古特別支援学校「パニパニ・ズミズミ」



コロナ禍で地域との交流が少なくなっていたため、生徒の美術作品展を校外で開催することで、学校のことや生徒たちのことを知ってもらいたいと考えました。

宮古島中央公民館・市民ギャラリーを使用し、約50点の作品を展示しました。自分達が一生懸命作った作品が展示されること、そしてたくさんの人に見てもらえることが生徒の自信になったようです。

(6) 宮古総合実業高校「みゃーく SHARKプロジェクト (生徒商業研究発表大会出場メンバー)」



今回の助成金で私たちは、サメの歯を活用したアクセサリー製作体験のための材料を購入し、朝市やみやこ産業まつりに参加しました。その結果、私たちが想像していた以上の来客があり、多くの方々に楽しんでもらうことができました。

今回実施した取り組みは、プロジェクトのテストマーケティングの一環であり、サメを観光資源として活用を目指すツアープラン実現化を図る参考になったと思います。

(7) 美里高校「読み聞かせボランティアAIR」



現在、小学校2校と提携しており、絵本の読み聞かせ動画を提供しています。小学生から感想やアドバイスをもらいながらよりよい動画を撮影できるよう頑張っています。

全国高校生マイプロジェクトアワード2023では全国大会にも出場することができました。他のプロジェクトの方やサポーターの皆様と意見交換を通して、自分のプロジェクトの改善点や良さなどを学びました。

ろうきんさんには助成もいただきましたが激励もいただき、本当に嬉しく自信を持ってこの活動を継続することができています。

(8) 沖縄国際学院高等専修学校「助け合い隊 in OKINAWA」



この助成金のおかげで、私たちは活動の規模を拡大することができました。地域住民の皆さま、南城市役所、玉城小・中学校に協力していただき、古着集めに加え、今回はおもちゃと食品の寄付を募集しました。

集められたおもちゃの一部は地域の保育園に寄付され、多くの子供たちに喜んでもらうことができました。

この取り組みを通じて、地域社会の困難に立ち向かうこと、地域の人々が支え合うことの重要性を再認識しました。

(9) 沖縄尚学高等学校「地域研究部 継承グループ」



例年は部内の後輩や他県の生徒に対して行っているガイド活動を、今回は私たちの保護者、先生方、他校で平和継承に取り組む生徒の皆さん、日頃私たちの部活動に関わってくださっている企業の皆さんをお招きし行いました。

参加者の方から「勉強になった」「今後も続けてほしい」と温かいお言葉をいただき、この活動に対する誇りを得ることができました。

(10) 琉球大学「学生団体VONS」



宮城ヶ原児童センターの児童と一緒に地域とサステイナブルに繋がるイベント「わらびんちゃー結結(ゆいゆい)大作戦」を実施しました。昨年から1年半かけて実施してきたSDGs講座の学びや経験を、レモネードスタンドとSDGs展示を軸に表現しました。

イベントの実施にあたって子ども達が主体となり、大学生と協働しイベントの企画や準備、運営をすることで、参加した児童がSDGs目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の大切さを体感的に学ぶことができました。

(11) 沖縄県立看護大学「ふしやぬふ うぐなーり cafe」



この1年間の活動を通して、進学を機に親元を離れ沖縄本島で生活していくようになった高校生たちが定期的集まる機会を設けることで、仲間たちと会う機会になり、居場所づくりができました。

ピアサポーターである大学生においても、思春期における学生たちとの関わり方や島立ちをする高校生の現状や課題、離島の生活や文化を学ぶ機会になり有意義な活動となりました。

(12) 沖縄大学「沖大ボランティアサポート団体『ぼらさぼ』」



管理栄養学科と協力し、本学調理室を使用し全2回のフードロス活動を行いました。参加人数は35名ほどで、地域の人々と学生が調理を行い、交流することができました。

プロジェクト開催に至るまでの過程で計画通りに進行する難しさを実感した半面、有意義な経験と学びを得ることができました。

4. 2024年度「ろうきん・あとっぽプロジェクト」募集概要

2024年度においても、「ろうきん・あとっぽプロジェクト」助成グループを募集します。応募期間、応募方法は以下の通りとなりますので、ご応募お待ちしております。

(1) 応募期間

2024年4月1日(月)～2024年5月31日(金)

(2) 助成額

総額100万円、1グループ上限10万円

(3) 応募方法

下記のURL、QRコードから応募要領を確認し、応募書類を沖縄県労働金庫（経営統括部）にEメールにてご提出ください。

<https://www.okinawa-rokin.or.jp/topics/1679639641/>



沖縄・地域のために
何かしたい
高校生・大学生の
「あとっぽ」を
応援します！

プロジェクト
あとっぽ
ろうきん

詳しくはろうきん
ホームページから

応募期日
2024年
4月1日(月)～
5月31日(金)

「自分たちがガイドのバスツアーをしたい！」「環境のことを考えるイベントを開きたい！」
など、高校生・大学生の皆さんが挑戦したいことを応援する助成金です。

対象者 沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等の地域活動・社会活動に取り組む高校生、大学生のグループ（2人以上）であること。その他条件については、ろうきんホームページからご確認ください。

助成金額 総額100万円
1グループ
上限10万円

2024.03

ろうきんカードで、ろうきん、イオン銀行、セブシ銀行ATMにてお引き出しして入金いただくことに、当金庫が方向を「ろうきん・あとっぽ」としてご提出いたします！

以上

本件に関するお問合せ先
沖縄県労働金庫 経営統括部
経営企画課 担当：知花
TEL：098-861-1196